

長尾小 学校評価の自己評価の結果を報告します

1学期末の学校評価アンケートではご協力いただきありがとうございました。

学校では、保護者の皆様にご協力いただいたアンケートに加えて「児童」「教員」のアンケートや日常の取組、様々なデータなどを元に、全職員で総合的に考察し、今年度後半の重点的な取組について話し合いました。その結果がまとまりましたので、報告させていただきます。

○本校の児童は、元気に登校し、規律正しい態度で生活しています。

※学校ではさらに次の点に力を入れて取り組みます。



○子どもが自発的に挨拶ができるよう、道徳の時間や学級活動の充実、児童会活動の工夫をしていきます。

○家庭と協力して挨拶や言葉遣いについてよりよくしていけるよう、学年通信等を通して情報提供します。

返事や挨拶、正しい言葉遣いについて、児童の評価は 93 %と高い数値ですが、教師に促されたり指導されたりしての結果だと考えます。高学年の児童が進んで挨拶をしていることが、低学年の手本となっている本校のよさを生かした指導をしていきます。



○幅広い読書ができるよう、国語や学級活動、委員会活動等を通して紹介しあう機会を大切にします。

○家庭での読書の勧めを発信していきます。



低学年での「本の読み聞かせ」を通して、楽しく本を読む素地ができており、中高学年でも多読賞の児童が多くいます。さらに、読書を楽しめるよう指導していきます。

○仕事を終えた後の充実感を味わえるよう、学級活動や掃除の反省会等で、賞賛する機会を設けます。

○家庭でも手伝いの機会を確保してもらい、子どもたちに働く喜びを感じさせられるように情報発信していきます。

学校で決められた分担の仕事はよくしていますが、自ら進んで仕事をするまでには至っていません。また、家庭で決まった手伝いをしている児童も 63%と少な目です。役割を果たす充実感や喜びを大切にしたい指導を進めます。



○生活リズムカードを活用して学活や短学活で生活を見直す機会を設定していきます。

○家庭での実践を促すために、学校保健委員会での内容を通信等でお知らせしたり、すこやか家族会議の中から参考となる話し合いの例などを紹介します。



児童や保護者の評価は高くなっていましたが、学校での様子からは、特に朝食の摂取の内容(野菜不足)や就寝時間に課題があると考えます。また排便の習慣が付いていない児童も見受けられます。

日常の温かな指導を一層推進していくことを基盤に上記 4 つの項目の他にも「人権週間の充実」「算数の少人数指導の充実」「学習の手引きの見直しと内容の周知」「体を動かす楽しさを味わえる指導の充実」「安全点検実施の複数化」等について、具体的な改善策をたてました。また、ご意見のあった「体調の悪い児童への対応」については、別途詳しくお知らせ致します。

長尾小の子どもたちのために、職員一同、精一杯努力していきますので、今後とも保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

長尾小学校長 中林 國夫